

第2回

アルファコーポレーション オルソKセミナー

—開業医がオルソケラトロジー治療に携わる意義とは?—

セミナー開催日時

2018 **11/11** (SUN) 13:30~16:15
(受付開始 13:00~)

セミナー開催場所

ザ・リッツ・カールトン大阪
ザ・イーストルーム (4F)
大阪市北区梅田2丁目5番25号

近視進行抑制へのチャレンジ

視力を満たす。心を満たす。

α **オルソ-K**[®]
オルソケラトロジー

定額制
+ α

毎月一定額の会費をお支払いいただく
ことで、オルソケラトロジーレンズ
を使用できる患者様向けシステム。

ホームページ www.alphacl.co.jp

主催 ALPHA CORPORATION

株式会社 アルファコーポレーション

協賛  Menicon

第2回 アルファコーポレーション オルソK セミナー ～開業医がオルソケラトロジー治療に携わる意義とは？～

第2回アルファコーポレーション オルソKセミナー プログラム

時間	タイトル	演者
13:30~13:35	開会のご挨拶	村上 博志 (株アルファコーポレーション代表取締役)
13:35~14:00	強度近視、乱視の治療におけるオルソケラトロジーの成否	謝 培英先生 (北医眼視光学センター)
14:00~14:25	オルソケラトロジー、ぜひ知っておきたい有効性・安全性を高めるコツ	平岡 孝浩先生 (筑波大学講師)
14:25~14:50	症例が示唆する、オルソケラトロジーと低濃度アトロピン点眼併用療法の近視進行抑制効果	二宮 さゆり先生 (伊丹中央眼科 院長)
14:50~15:15	オルソケラトロジーを沈黙考してみよう	稲澤 かおり先生 (稲澤クリニック 院長)
15:15~15:35	休憩(20分)	
15:35~15:55	座長総括	湖崎 亮先生(湖崎眼科 副院長)/吉野 健一先生(吉野眼科クリニック 院長)
15:55~16:15	メーカープレゼンテーション	伊藤 孝雄
16:15	セミナー終了 *セミナー終了後お食事をご用意しております。	

座長ご挨拶



湖崎 亮 先生 湖崎眼科 副院長

ご挨拶

2017年の学校保健統計では、小学生で裸眼視力1.0未満の比率は32.46%と過去最高であり、スマホやタブレットの関与が疑われている。近視進行抑制は、世界中で喫緊の問題であるが、本邦でも低濃度アトロピン点眼による二重盲検試験(ATOM-J)が進行中で、そろそろ結果がでるようです。一方、学期期に対するオルソケラトロジー(オルソK)の近視抑制効果も、数々の研究結果により、その有効性が証明され、2017年12月にはオルソKのガイドラインが改訂となり、今まで、適応年齢が20才以上と規定されていたのが、20才未満は慎重ではあるものの処方可能となった。

本セミナーは、昨年、第一回として東京で開催されたが、今回は、この大阪で、小児に対するオルソKの第一人者として本邦からは筑波大の平岡先生、中国からは北京大の謝先生、また、大阪からは開業医でオルソKに精通している二宮先生、稲澤先生を講師に迎え、最近の知見や経験について講演して頂きます。私のように興味があるものの、導入には敷居が高いと感じている先生方や、すでに導入している先生方にも、きっとご期待に応える内容となっていると思います。



吉野 健一 先生 吉野眼科クリニック 院長

ご挨拶

2009年にオルソケラトロジー(オルソK)が承認され、初版オルソKガイドラインが発表された。その後7年の歳月を経て2017年12月に、より安全で有用な角膜矯正用コンタクトレンズを目指し改訂第2版が上梓された。未成年者への処方が慎重処方となり、レンズケア方法の重要性を強調した内容となっている。この適応年齢の緩和を機に、今後オルソK診療は活発化することが予想される。

適切な処方によるリスク回避、未成年患者には本人および親権者の高いコンプライアンスをもとに良好な矯正効果と近視進行抑制効果が期待される場所である。

本セミナーは、すでにオルソK臨床を行なっている、または導入を検討している医療従事者の方々の知識の再整理と習得のためはもとより、導入を考えていない先生方にも、今後増えるであろう患者からの質問に対する情報提供の手助けとなる内容になるものと確信しているので、是非参考にさせていただきたい。

各セミナーのご紹介



演題1 強度近視、乱視の治療におけるオルソケラトロジーの成否 謝 培英 先生 北医眼視光学センター

世界の強度近視人口は約1.63億人(総人口の2.7%)と言われており、2050年には9.38億人(総人口数の9.8%)に増加すると予測されている。中国は典型的な強度近視発症国であり、若年者の強度近視率は6.69%~38.40%に達している。強度近視は若年化する傾向にあり、中国国内では失明要因の第二位となった。

本セミナーでは、オルソケラトロジーを用いた強度近視および強度乱視の進行抑制治療の必要性、可能性、信頼性および不確実性、難治性、リスクについて報告する。オルソケラトロジーは有効性および安全性に影響する要因が多く、生体・生理の面においては、年齢、屈折力、角膜形態、角膜の厚み、角膜の光学特性、涙液の質、眼瞼の状態などがあり、治療の選択および管理の面においては、レンズ材料、デザイン、加工並びに検査の精度、QOV、患者指導、装用時間、装用方法、使用期間、ケア管理、コンプライアンスなどがある。さらに本セミナーでは年齢、レンズデザインおよびレンズケアの3つの重要な要因を基に具体的な症例解説を通して治療の成否について解説するので、臨床応用の参考としていただきたい。



演題2 オルソケラトロジー、ぜひ知っておきたい有効性・安全性を高めるコツ 平岡 孝浩 先生 筑波大学 講師

国際的にはオルソケラトロジーの最もよい適応は学童と考えられており、近視進行抑制を目的とした処方が主流である。新たな学術論文も続々と報告され、近視進行抑制効果のエビデンスは着実に積み上げられている。近視度数や乱視度数に関しても徐々に適応が拡大しており、7年・10年といった長期経過における有用性・安全性も近年報告された。また急激な近視進行を抑えるためには治療開始年齢を早めたほうがよいということも分かってきた。このような背景のなか本邦でもガイドラインが改訂され約1年が経過するが、全国的に学童への処方が増加しているのを肌で感じている。

併用療法に関しても研究が進んでおり、低濃度アトロピン点眼と併用することにより相加的な眼軸長伸長抑制効果が得られることが確認された。今後、近視進行抑制法の中心的な役割を担いながら益々普及していくと予測されるが、本講演では有効性や安全性を高めるコツについて最新情報を織り交ぜながら解説する予定である。



演題3 症例が示唆する、オルソケラトロジーと低濃度アトロピン点眼併用療法の近視進行抑制効果 二宮 さゆり 先生 伊丹中央眼科 院長

近視進行のメカニズムは未だ未解明な部分が多いものの、オルソケラトロジー(以下、オルソK)を用いた近視進行抑制治療は臨床研究におけるエビデンスレベルも高く、その近視進行抑制効果の認知も広まりつつある。また、オルソKと低濃度アトロピン点眼の併用療法には相加効果がみられたという報告も出てきており、実臨床に於いてより効果的な近視進行抑制治療への期待がますます高まっている。この講演では、オルソKと低濃度アトロピン点眼の併用療法にて近視進行抑制治療を行っている当院の症例を紹介し、併用療法に対する自身の印象をお話したい。特に不同視の子供に対して片眼のみオルソK処方(両眼に低濃度アトロピン点眼)を行っている症例では興味深い経過を示しており、光学的要因以外の因子(遺伝や環境など)が等しい同一人物において、左右それぞれの眼で異なった経過を辿る現象についても考察してみたい。



演題4 オルソケラトロジーを沈思黙考してみる 稲澤 かおり 先生 稲澤クリニック 院長

以前は裸眼視力の向上のためにオルソケラトロジーを希望する患者がほとんどであったが、2017年の日本コンタクトレンズ学会によるオルソケラトロジーガイドラインの改訂や近視進行抑制効果が多数報告されたことにより、患者や保護者の希望も多様化してきている。近視も進行しにくくなり裸眼で日中過ごせれば、良いこと尽くしのようであるし、実際に施行する患者数も増加している。しかし、中には意外な症例がうまくいかず中断してしまったりすることもあれば、ハードルを乗り越え上手にいくケースもあったりする。また、適応から外れお断りしないといけな症例も多く、実際の臨床の場では何らかのレスキューを示してあげたいと感じることも少なくない。患者の動機や年齢も様々であるが、中でもオルソケラトロジーを導入しやすい症例について、あるいは、導入しやすくする方法や日々の診療のちょっとしたコツなどをお話したい。

複雑なレンズ形状に最適！

就寝時に装用するオルソケラトロジーレンズは、
より高いレベルの衛生管理が求められます。

プロジェントは汚れが残りやすいリバーカーブ部分の
汚れまでスッキリ除去します。より快適な装用でより良い視力を。

患者様が実際に装用したオルソケラトロジーレンズの洗浄効果試験を実施。
ハードコンタクトレンズケア(界面活性剤)による洗浄・こすり洗い後、リバーカーブ部分
に汚れが残っていたが、プロジェント処理を追加することで除去することができた。



洗浄前



界面活性剤洗浄後



プロジェント処理後

〈第61回日本コンタクトレンズ学会 セミナー 平岡先生資料より抜粋〉

強力タンパク洗浄液

プロジェント

30分ケアで
強力タンパク除去

α オルソ-Kは月2回処理を推奨

【主成分】

A液: 次亜塩素酸ナトリウム 5mL
B液: 臭化カリウム 5mL

